

教科名 (科目名)	理科 生物	履修学年 単位数 (週当たりの授業時数)	3 年	学科	普通・フロンティア 科 4 単位
--------------	----------	-------------------------	-----	----	---------------------

◆何ができるようになるか (教科・科目の目標)

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1)日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
 (3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究する態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 生物や生物現象に関する基本的な知識や概念、原理、法則などを理解している。 科学的に探究するために必要な観察、実験における技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物、現象の中に問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究することができる。 実験や観察の結果をまとめ、科学的根拠に基づいた考察を明記したレポートを作成できる。 実験手順や観察方法を理解し、安全に配慮した操作ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物、現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。 生物や生物現象に関わる現象について、周囲と議論して理解を深めたり、発展的な内容の習得に向けて積極的に学習に取り組むことができる。
評価方法	○単元テスト ○小テスト ○定期考査 ○実験観察 ○課題	○単元テスト ○小テスト ○定期考査 ○レポート	○発表 ○授業態度 ○課題への取り組み方

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定 (概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	3
		BBC (ACC)	
C	39~0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか (教材等)

【教科書】高等学校 生物 (第一学習社)
 【参考書】生物IN生物 (生物基礎編)
 新課程二定版IN7最新図説生物 (第一学習社)

◆どのように学ぶか (授業方法、学習方法)

教科書の内容を中心に、1・2年次に履修した学習内容を土台として生物学に関するより専門的な内容を学びます。また教科書だけでは補えないような発展的な内容については、生物IN生物や資料集 (最新図説生物) を用いて学習し、幅広い知識を身に付け、科学的な思考力や判断力を養成します。医療系や農学部等への進学に必要な科目ですので、家庭での復習や予習をしっかりと行うことが大切です。

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
1 学期	4月	<第6章 遺伝子の発現調節と発生> 第1節 遺伝子の発現調節	○ 課題 ○ 実験観察 ○ 小テスト	○ レポート ○ 小テスト	○ 課題 ○ 授業態度
	5月				
	6月	<第7章 遺伝子を扱う技術とその応用> 第1節 遺伝子を扱う技術	○ 課題 ○ 実験観察 ○ 小テスト	○ レポート ○ 小テスト	○ 課題 ○ 授業態度
	7月				
2 学期	8月	<第8章 動物の反応と行動> 第1節 刺激の受容と反応	○ 課題 ○ 実験観察 ○ 小テスト	○ レポート ○ 小テスト	○ 課題 ○ 授業態度
	9月				
	10月	<第9章 植物の成長と環境応答> 第1節 植物と環境	◎ 単元テスト(第9章-2)	◎ 単元テスト(第9章-2)	
	11月	<第10章 生態系のしくみと人間の関わり> 第1節 個体群と生物群集	◎ 単元テスト(第9章-2)	◎ 単元テスト(第9章-2)	
	12月	第2節 生態系の物質生産と消費	◎ 2学期期末考査	◎ 2学期期末考査	
		第3節 生態系と人間生活			
大学入学共通テスト対策					
3 学期	1月	大学入学共通テスト			
	2月				
	3月				